IAMASカリキュラムマップ（博士後期課程）

科目とディプロマポリシー（学位授与方針）3項目の対応。出典：2026年度公開シラバス「授業科目（博士後期課程）」・科目別評価基準（www.iamas.ac.jp/disclosure/）

【凡例】◎主担当（CPがその区分の設置目的として明記する能力） ○関連（シラバスの到達目標・評価基準に対応する文言が明確にある）

科目区分	科目名	単位	学期・対象	DP① 専門性・研究遂行力	DP② 領域横断・新しい知	DP③ 倫理性・社会発信・論文化	判定根拠（シラバス「到達目標及びテーマ」「評価基準」の文言）
研究基礎	メディア表現研究I	2	1年前期・必修	◎		○	「メディア表現分野に求められる研究倫理に基づいたテーマと計画が必須」／「自身の研究テーマを確認し、研究を進めるための方法構築の全般の修得を目標」
研究基礎	メディア表現研究II	2	1年後期・必修	◎	○		「各自の研究を理論的に思考し客観的に文章化するための基礎理解」／「領域横断的視点を重視しつつ、論文執筆に向けての基盤を作ることを目標」
研究基礎	知的財産権特論	1	1〜3年前期・選択	◎		○	「知的財産制度の基礎的及び専門的知識を習得」／「研究者、芸術家、実務家として知っておかなければならない注意点などを習得」
プロジェクト研究	プロジェクト研究I	2	1年後期・必修	○	◎		「PBLと研究を協調させた授業」「領域横断的なプロジェクト企画」「コミュニケーション力の獲得を目標とする」／「問題設定能力、問題解決能力、ディベート能力、統合力などの修得」
プロジェクト研究	プロジェクト研究II	2	2年通年・必修	○	◎		「博士論文作成に向けた実践的研究を展開」「領域横断力と実践力の獲得を目標」 ※DP③（論文化）にも根拠あり —— 印を2つに絞る表記ルールにより区分内で統一
特別研究	メディア表現特別研究I	2	1年通年・必修	◎	◎	◎	「（1）研究テーマの設定・研究計画立案、（2）論文研究・年次制作の実施、および（3）報告書の提出」を通じ、本格的な研究に着手することを目標とする
特別研究	メディア表現特別研究II	2	2年通年・必修	◎	◎	◎	「中間審査発表会」に向けて研究成果をまとめ、「自らの研究・制作をより一層発展・深化させることを目標とする」
特別研究	メディア表現特別研究III	4	3年通年・必修	◎	◎	◎	「自らの研究・制作を領域横断的視点から既存の価値観にとらわれない学術的・社会的に大きな価値を持つ博士論文として研究成果の結実を目標とする」
◎主担当数				**6**	**5**	**3**	